

第1回

全国小学校英語活動実践研究大会

開催報告

- 1 . 大会開催費決算報告
- 2 . 参加者感想アンケート集計
- 3 . el Net 放映期日変更のお願い

大会開催費決算報告

第1回全国小学校英語活動実践研究大会 実行委員長坂野 治利

収入の部 1,043,000 円

	決算額	摘要
参加費	643,000	643人分
京都市小学校英語活動研究会パイオニア補助金	400,000	

支出の部 1,043,000 円

講師謝礼	旅費	157,000	
	宿泊費	70,000	
	講演料	185,000	
事務費	用紙類	51,885	上質紙他
	封筒	4,200	
	ビデオテープ	7,350	
	実行委員会印	4,095	
資料費	大会冊子	183,750	大会当日配布分
	大会冊子(追加分)	135,450	
運輸費	レンタカー	7,527	ガソリン代含む
	タクシー料金	11,840	
通信費	郵便料金	69,640	郵便切手
雑費	会場謝礼	60,000	公開授業3校
	協力謝礼1	10,000	洛央小 PTA・西陣中央小 PTA
	協力謝礼2	10,000	日野小・西院小
予備費		75,263	郵便料金・事務費等に補充

残高 0 円

第1回全国小学校英語活動実践研究大会 参加者アンケート集計

公開授業

西陣中央小学校

- ・ まず、学校全体が、子どもに楽しく学ばせようという雰囲気があふれていてとてもよかったです。設備、教材の充実振りにも感心しました。勤務校へ帰っても参考にしたいと思います。(高知)
- ・ にこやかな授業でよかった(兵庫)
- ・ 大変参考になった。英語のレベルやハードルが高すぎないので、自分の学校にもアレンジしやすいと思う。FLTの先生のソフトですばらしい語り方が素敵だった。学級担任の方との協力も良くできていたと思う。(高知)
- ・ HRTのみで授業をされた5年生を参観して、児童を取り巻く英語の存在に気づかせ興味をもって、取り組ませる様子に感心しました。(大阪)
- ・ 5年生のアルファベットを見つけようの授業を参観しました。担任の先生が、日本語をうまく使いながら、クラスルームイングリッシュをうまく使われて授業を進められているのが、とても参考になりました。身近にあるアルファベットに親しむことから、文字に慣れ親しむことができると思います。指導細案を実態に応じて、アレンジされているのが良かったと思います。(熊本)
- ・ 4年生の授業を見せていただきました。FLTと担任とのT.T.で子どもたちがとても楽しそうに英語活動をしていました。教材の選定も良く、興味を引く単純な繰り返し活動の中で、楽しみながら、自然に英語に親しめるように構成されていました。FLTの方も、どの子にも次々と質問をしていって、一人一人への丁寧な指導がなされていました。結局は、子どもたちをあきさせない楽しく活動できるということが、イコール、子どもの発達段階、あるいは、子どもの実態に合った授業になるのではないかと感じました。(大阪)
- ・ 私の勤務校でも、英語絵本を用いた授業実践を行っていますので、大変参考になりました。先生方は、教材作りなど大変だったことと思います。すばらしい授業を見せていただき、どうもありがとうございました。(島根)
- ・ 5年生、矢野先生の授業を参観させていただきました。児童の反応が良く、指示にも良く従い、活動的な学級でした。先生の笑顔(影浦先生もおっしゃっていましたが)がとてもよかったです。児童との信頼関係も良いのが良くわかりました。文字指導のヒントがたくさんあり、参考になりました。(高知)
- ・ 道徳教育がしっかりされていて、心を育てる視点で、英語活動が成り立っていることが見えました。何よりも、学級担任が一生懸命行っていることが、本日のすばらしい授業になったと思います。ありがとうございました。文字導入は、私にとっても課題です。子どもたちはとても楽しそうにやっていました。方策がgood!でした。(栃木)

第2会場：第四錦林小学校

- ・ 2年生を見ました。みんな元気で楽しそうに活動しているのがすごいなぁと感心していました。2年生ながらALTが行っていることを理解しようとする姿勢に感動しました。(大阪)
- ・ 内容や教材，教具にも工夫が見られ，児童も一生懸命に活動をしていました。「わからない」と声を発している子や，活動の手が止まっている子に対する担任の支援や，児童同士の声かけが見られなかったのが残念です。小学校の英語（に限りませんが）では，それが一番大切かと思います。(石川)
- ・ 教材（毎回の授業）の準備が大変だろうなという気がしました。(東京)
- ・ 2年生，参考にできる部分もあったが，ALT一人でもできる授業ではないか。2年生にしては，よく英語が使える子どももいたが。講演の時間がもっとも必要である。特に授業者との接点をもった方法が必要である。(北海道)
- ・ 私も2年生の担任ですが，やはり2年生はのりがいいですね。朝の健康観察というのがあるのですが，週3日は，英語でHow are you?と尋ねてやっているのですが，喜んで答えています。この授業でも元気よく答えたり，歌ったりしてとてもいい雰囲気で行われていたのがとても良かったと思います。4年生は，ちょっと恥ずかしそうにしていますが，学級担任の先生の流暢な英語をしっかり聞いて反応していたなと思います。(滋賀)
- ・ 私が拝見したのは，HRTのみでされている授業で，思ったより活気がなかったように思えたが，児童の安心感はあった。(兵庫)
- ・ 早期英語に取り組み，1，2年生を中心に研修に取り組んでいますので，とても参考になりました。まだ，スタートの時期ですので，1つのモデルとして学校でも活用させていただきます(奈良県)
- ・ 授業者の先生方，お疲れ様でした。いろいろなアイディア工夫にとっても驚きました。楽しく英語を話しながらショッピングをしていた男の子がとても印象的で，一生懸命表現を思い出していたり，また，すらすらと表現できていたり，その子ども一人一人に到達が違うのが面白いところだと思いました。6年生は一見すると講義的な展開になるのかなと思っていたけれど，楽しそうな様子だったのですごいなと思います。ただ，人数が多いようなので，到達の早い児童は時間を持て余したりしないかなと，そのときはどうするのかなと思いました。いろいろ，勉強になりました。ありがとうございました。(高知)
- ・ タスクという点に興味をもち，見学させていただきました。大変ユニークでよかったように思いますが，ALTの先生をどのように使うかが，もう一工夫いるような気がしました。(大阪)
- ・ 4年生の授業を拝見しました。松川先生のご講評にまったく同感で，担任の先生だからこそできるテーマで，子どもたち一人一人が本当に自分で動く，表情豊かに個別のやり

取りができることがすばらしいと思いました。英語を使いながら、ここまで目的をもったタスクが個別に実現されたことに感動の涙が流れました。最後の歌もすばらしかったです。加藤先生すばらしかったです。(東京)

- ・ 4年生のビオトープの授業を参観させていただきました。自分たちで作ったビオトープを紹介するという活動でしたが、子どもたちは、自分たちのビオトープということで、特別な思いをもって取り組んだと思います。また、「命」の学習と絡めるという担任の先生の願いもすばらしいと思いました。1年間を見通して、担任の思いを軸に指導を組み、また他教科との関連ということで、縦糸と横糸がしっかり組み合わせられた授業だと感じました。私の学校でも、先日人権教育の研究会で英語活動を発表しましたが、やっぱり、英語活動は奥が深いと改めて感じました。2月の研究発表会、がんばってください。研究紀要、楽しみにしています。松川先生のタスクのお話、すごくわかりやすかったです。タスクについて、雲が晴れるようにすっきりしました。帰ってから先生方にも伝えていこうと思います。(大分)
- ・ タスクを取り入れた英語活動ということで、授業を参観させていただき、活動作りにおける新しい視点を得ることができました。(宮城)
- ・ 各クラス趣向を凝らした授業をなさっており、大変興味深く拝見しました。人数が多く、子どもの近くで見ることができず、少々残念ではありましたが。クラスごとに教室に誘導してくださる方、整理要員の方がいらっしゃればもう少し中のほうまで詰めて、より多くの人が見られたのではと、思います。(市内・府内)
- ・ 助言者は、参観された授業を好印象に受け取られたようですが、かなり課題の多い授業と思われました。本当に子どもたちに英語を使って話したいという思いがあったのか、タスクはあるが、子どもの思いが背景にあるのか、教師の指示の日本語の多さが気になる。オールイングリッシュである必要はない、ALTの英語を訳すような必要はない。子どもたちは英語を聞いて思考していたわけではないと思われる場面が多かった。全国のような様々な実践を比較分析する必要があると思う。(石川)
- ・ 低中高に分かれての公開授業、大変参考になりました。とくに4年生の授業は魅力的でした。はじめのグリーティングでも、子どもと担任の先生との関係のよさを感じました。学習内容が、子ども主体のもので、目に見えてわかる、一人一人のオリジナリティーのある、関わり合いのある授業でした。(滋賀)
- ・ 英語を手段として使用し、のびのびと学習している児童の姿を見て、中学校でももっと工夫をしていかなければならないなと感じました。(高知)
- ・ 2年生の授業は参考になりました。4、6年は、見たかったけれど、部屋が小さくてよく見えなかったし、聞こえなかったのが残念。(愛知)
- ・ とてもすばらしい実践、ありがとうございました。4年生の加藤先生の授業を参観させていただきました。今までの自分たちの英語活動を一新させるくらい違った良い意味での授業でした。先生の美しい顔に感心し、すばらしいわかりやすい英語の話された方

に関心いたしました。(埼玉)

- ・ 4年生を見ました。ピオトープの取組の中に、他教科のからみがふんだんに取り入れられていてとても素晴らしい実践だと思いました。先生の「いのち」に対する思い入れの強さも伝わってきて、それがきっと子どもたちの活動にも現れているんだろうなと想像することができました。私たちの学校の英語活動では、単元を作る際にどんな単語にするかを学年の発達段階を踏まえて決めてきましたが、他の教科や総合的な学習の時間に出てきたもの(たとえば、キャタピラー、コクーンなど)を扱っても子どもたちの関心が高ければ、少々難しくても子どもたちは吸収しているのだということが発見でした。今日は、本当に学ぶことが多い授業をありがとうございました。(大分)

第3会場：洛央小学校

- ・ 2授業とも、とても参考になりました。授業にJTE,FLTを導入しながらも担任が主体となって進めているところが良かったです。ただ、子どもたちにはもう少し元気が欲しかったです。3年生の授業は、(普段のように?)自教室で行っていましたが、洛央小のように、オープンスペースの校舎の場合、英語活動中の音や会話が、他学年や他級の迷惑にはならないのでしょうか?少し気になりました。また、室内に、全児童の机や椅子があることが、活動の妨げになっていないでしょうか。のびのびと気兼ねなく活動するための場と環境の工夫が大切かもしれませんね。(市外)
- ・ 大変設備の整った校舎で、同じ公立校に勤めるものとして、うらやましく思いました。今日は、英語という教科を担当されているわけではない小学校の担任の先生が、どのように授業されているのかを楽しみに見に来させていただきました。3年の授業では、主に外国語指導助手の方がメインに活動され、担任の先生はアシスタント的な役割であったように思えました。少し残念でした。今日は、大変なプレッシャーの中、ご苦労様でした。斎藤先生のお話をもう少し深く伺いたかったです。時間がなくて残念でした。(市内・府内)
- ・良かったです、参考になりました。(滋賀)
- ・ とてもきれいな学校でした。教室のつくりや授業、掲示等、いろいろ見せていただきましたが、先生方には、あまり良く思われていなかったようでショックを受けました。研究発表校は、どのクラスも見てよいと思っておりましたので、残念に思います。(長崎)
- ・ 大変よく勉強されているとはいえ、普通の学級担任が普通の子どもたちを授業をしている様子は大変参考になり、勇気づけられました。ありがとうございました。ALTとHRTとの授業の中での役割、連携が良くわかりました。(兵庫)
- ・ 明るくて楽しさいっぱいの小学校印象をもちました。素晴らしい環境で学ぶことができる子どもたちは幸せだなと思いました。中学校で英語を教えている立場で、授業を見させていただきました。チャンツで楽しく英語を発している姿を見て、英語をenjoyしてい

ることが良くわかりました。しかし、英語は言葉であり、人と人とのつながりを作るものであることを考えると、アイコンタクトをとり、クリアーボイスで話すなど、相手に伝わることをもっと大切にすれば?と思いました。すばらしい授業をありがとうございました。(静岡)

- ・ 子どもたちが生き生きと活動していた。4年生の授業では、個人、ペア、グループ、一斉ともしっかりとした形態を用いて、もっともっと声を出させてもいいなと思った。とっても反応のいい子どもたちだったので、なおさらそう思った。(佐賀)
- ・ 大勢の見学者がいる中の授業は、子どもにとっても先生にとっても大変だったと思います。ありがとうございました。ふだんはもっと一人一人の子どもが生き生きと活動しているのではないかと思います。どの子も、声を出して、英語を言うことなかなか大変なんだと感じました。(東京)
- ・ 3年生、若い外国語指導助手の方が英語、指導とも上手だと思いました。4年生も見ましたが、4年生は、パズルの2回目は、何か別のやり方を工夫してほしかったと思います。(大阪)
- ・ 参観しやすいスペースで公開して欲しかったですね。学習の流れや内容については本校と似ていて、大変参考になりました。担任が進める英語活動のあり方、いいのではないのでしょうか。少し日本語もあっていいのではと、私はと思いますが。よく指導してあると感心しました。(福岡)
- ・ リズムを使ってうまく児童のモチベーションを保っていた。ただ、レッスンのテーマにこだわりすぎて、子どもの疑問を飛ばしていたのは、もったいない。(兵庫)
- ・ 4年生と3年生の授業を参観しました。4年生は、挨拶を一人一人と交わして、一人一人が英語で答えていたの良かったと思います。たくさんの英語を自然な形で学べていて、感心しました。3年生は、リピートばかりだったので、もう少し違った形式も取り入れては?と思いました。私もチャンツを取り入れた授業をしたこともあります。やはり、リズムに乗ると発音しやすい、と実感しました。ありがとうございました。(兵庫)
- ・ 子どもたちの楽しそうな様子が印象的でした。すばらしい設備のそろった学校で、英語の実践においても子どもたち一人一人が大切にされていると感じました。(滋賀)
- ・ ALT,JET と行う英語活動は、各県市町村の財政により、大変な温度差がある。子どもたちに等しくチャンスを与えるために、やはり、担任一人だけで行う授業を積極的に研究していくべきである。私の住む岡山県新見市は、1700万円/年を投じ、ALTを3人各校に派遣している。したがって、週1~2回は必ずALTと触れ合うことができる。授業スタイルも4年を経過した今、かなり確立されてきた。そんな中にもますます担任一人で行うことの大切さ、クラスルームイングリッシュの定着による限りなくオールイングリッシュの授業の大切さを感じます。担任ががんばらずに、英語活動の発展はありません。ALT,JETに頼らずにがんばってほしいと思います。(岡山)

その他

- ・ 指導講評への質疑応答があればよかった。

全体会

- ・ 平田調査官の話に期待していたのですが、データから読み取れることのみで終始し、今後の動向など、肝心なところが聞けず、とても残念でした。文科省として、何をねらっているのか、これから現場に期待することなど、もっと具体的な内容が聞きたかったです。(北海道)
- ・ 小学校の英語活動の実態がわかって参考になりました。(兵庫)
- ・ とても参考になりました。楽しむことをもう一度再認識しました。(高知)
- ・ 平田先生のお話をもっと伺いたいと思っていましたが、分科会の方で伺うことができとてもよかったです。
- ・ 企業のための勉強ではない、一部のエリートを作る学習ではおかしいです。文科省、もっと、考えて！文科省、早く結論を。今、何が大切かをしっかり考えて欲しい。教育課程の学習をしているが、現在の時数は外国と比べ、200時間ぐらい減ってきている。繰り返しが必要な学習を減らして、できない子ができてあたりまえです。(滋賀)
- ・ 大変勉強になりました。(大阪)
- ・ 来年の中教審の答申が楽しみです。(東京)
- ・ あっという間の文科省の講演でしたね。今後の方向性をもっとわかるかと思っていたので少し残念です。(滋賀)
- ・ 重要な内容は、挨拶ではなく講演であり、もっと講演の時間を長く取る必要がある。(北海道)
- ・ 全体的に、小学校英語に対する熱が高まってきていることを感じることができました。(島根)
- ・ 平田先生に昨年のシンポジウムと違った話を聞きたかったと思いましたが、立場上しかたがないかな。(福岡)
- ・ 文科省の方からの説明で、A4、1枚でも結構ですので、レジメをいただければよかったです。(市内・府内)
- ・ 普段多忙で、あまり調べてもないので、文科省からの情報が貴重でした。(高知)
- ・ 本当に平田先生のおっしゃるとおりです。日々、英語を教えながら不安な毎日でした。私たちの心のうちを見透かされていたのが有意義でした。学校へ帰ったら、内容を、手法を、考え方を改め、実践していこうと思います。(埼玉)

分科会

1. カリキュラム

- ・ 生津小のお話の中で、コミュニケーションの目指す姿として、「粘り強く」「工夫して」

「推測して」ということが、英語活動におけるコミュニケーション能力のキーワードになるなと思いました。お話を聞きながら、なぜ英語活動か、(やはり、ここがしっかりしていないと周りにも広がらないですね)ということ、再度、自分の中で考えました。帰ってから、仲間とも議論を深めていこうと思います。「指定」なし、「特区」なし、設備や人材、行政のバックアップもなし、細々とやっているというような普通のレベルの学校がそれでもいろんな工夫をしながら取り組んでいる様子も知りたいです。(大分)

- ・ カリキュラムの作成にあたっては、それぞれの学校のねらいによって、内容も大きく変わるのかなと思いました。コミュニケーション能力の育成という点で、同じ分科会での助言者、松川先生のお話をもっと聞きたかった。実践発表を少し短くしてもと思いました。(東京)
- ・ 全国的に様々な地域の様々な取組がわかって、とても参考になった。(大阪)
- ・ 松川先生のお話、とてもよくわかりました。外国語は数たくさんある中で、なぜ英語なのかを理解する必要がありますね、そして、なぜ、今、英語なのか、その必要性をきちんと説明することも大事ですね。(滋賀)
- ・ 松川先生の講評がとてもよくわかり、良かったです。(大阪)
- ・ それぞれとても熱心に取り組んでおられて感心して聞かせていただきました。カリキュラム作りはとても難しいことですが、私も姫路市の小学校で協力してがんばっていきたいと思います。(兵庫)
- ・ アクシデントの中、すばらしい発表をありがとうございました。(埼玉)
- ・ 特区ではどうしても文字指導を導入する必要があるのでしょうか。コミュニケーション能力の一つとして文字を入れるとすると評価はどのようにしているのでしょうか。生津小の取組では、他の教科との関連付けが興味深かったです。「あっ、こんなこともできるんだ」と、新しい刺激になりました。朝の放送、昼の放送を自分の学校でもやってみたいです。(大分)

2. 小中連携

- ・ 小学校を中心に英語が変わっていくのが楽しみです。(大阪)
- ・ 影浦先生のご指導が大変参考になりました。(静岡)
- ・ 寝屋川の小中連携に関してですが、「中学校ではこうしている」「小学校ではこうしている」というだけで、連携らしさが見られないように思いました。意見交換や会議だけでなく、実際に他の3小学校の子どもたちと交流したり、中学に視察へ行くといいいのではないかと感じました。(大阪)
- ・ 小中連携の話と聞いていたが、影浦先生がおっしゃったように中学校からの視点や活動はあまりなかったように思う。(兵庫)
- ・ 冊子として配布されている内容をお話していらっしやっただので、時間は短くとも、ビデオ上映や冊子に書いてある内容をコンパクトにまとめてお聞きしたかったです。各発表、

30分は少し長いと思いました。短くした分、質疑応答などに割けるのではと思います。
(市内・府内)

- ・ 3人の先生方の発表がそれぞれにすばらしかったと思います。前田先生の発表の内容でもう少し小中の関連が入っていたらよかったと思います。前田先生のパワフル、アクティブな学級の様子が良くわかり、中学校でもトライしてみたいと思いました。
- ・ 影浦先生が言われた、「小学校英語の今の取組が中学校英語教育の前倒し、おいしいとこどり」というのは、中学校教員として共感しています。(高知)
- ・ 私の勤務する学校も「英語活動」を主題研究で取り組んでいます。小中連携について今後の課題を考えていましたので、今日の実践報告を生かすことができます。ありがとうございました。(宮崎)
- ・ 明德小学校の研究テーマの設定に大変興味を持ちました。コミュニケーション能力の原点だと思います。中学校の先生方が小学校の授業を見て、話し合う視点はどんなものが具体的にお話をお聞きしたいと思っていたら、質問の答えからそれは良くわかりましたが、今後の方向性をお聞きしたいです。今後、カリキュラム・シラバス作成にあたるということですが、楽しみにしています。金沢市立弥生小学校の先生の発表、実践を通してのまとめでよくわかります。英語活動ではなく、英語科と称したのはなぜでしょうか。特区だからの理由だけでしょうか。お伺いしたいです。名称が変わって、内容も何か変更したのでしょうか。生徒、先生、保護者のイメージはいかがでしょうか。(栃木)
- ・ 小中連携をテーマに掲げながら、それに対応した発表内容でないものが合った。発表内容そのものは、それもすばらしく学ぶことが多かったが、求めていた内容とは違っていたのは残念。ただ、意見交流会は、期待以上に価値があった。(石川)
- ・ 連携をされてきた過程をお聞きしたかったのですが、主に小学校での活動の発表だったので、少し残念でした。校種が異なる中、連携する難しさ、うまく連携された実践報告があれば、なお良かったと思います。貴重なお話、ヒントをいただけて良かったと思います。(市内・府内)
- ・ 具体的な実践がビデオ等で紹介され、大変わかりやすく、内容的にも充実した発表で、大変勉強になりました。(石川)
- ・ 担任の先生のがんばりが伝わってきた。(東京)
- ・ 報告が必ずしも小中連携ではなく、小学校に偏っていたと思われる。(北海道)
- ・ 英語活動がまだ導入段階で、我が小学校でも時数の確保が難しく、また、ALTがいない時間に学級担任が一人で進めなければならない時間があり、どう行っていけばいいのかが曖昧でかつ、個人差があるので困っているが、専科でない担任の英語活動の実践はとても参考になりました。(滋賀)
- ・ プレゼンの仕方を工夫して欲しい。シートが多すぎて、一枚一枚の情報も多い。どこを見ればよいのかわからない。また、スクリーンも大変見にくい。(市外)
- ・ 小学校英語活動が批判される原因の一つに「遊びで終わる」という意見があります。私

の意見では、小・中をつなぐテーマとして「実践的コミュニケーション能力の育成」がかぎになると思います。とはいえ、小学校であまり小難しいことは避けた方が良いと思います。したがって、今回の金沢市のような「自分の意思を状況に応じて伝える力」という根本的なものに焦点をあてた教育に深く共感しました。(同志社大学学生)

- ・ レベルの高い発表を聞かせていただき、ありがとうございました。中学校の英語教育で指導されているのと同じ内容を小学校でも展開されているとわかりました。評価の中に認知領域にかかわるものが入ってくると、さらに英語活動の評価の質が高まると思います。本格的な小中連携が望まれます。(北海道工業大学)
- ・ 以前、小中併設校に勤務していたときに、小学校での英語授業を行っていました。私は中学校の英語教員です。それから、小学校での英語教育に興味をもちました。今回、この研究大会に参加できるのをたのしみにしておりまして、九州のほうより参りました。発表を聞きながら、小学校での英語教育はここまで進歩しているのだなと大変感心しました。が、現場での実態では、かなり小学校英語のデメリットが中学校でも現れることが多く、今、それに悩んでいます。たとえば、中学校に入った時点で、すでに英語嫌いがいるとか、間違った発音で学習してきているなど。英語は「ことば」ですので、私は「音」というものを非常に大切にしており、授業でも毎時間フォニックスを取りいれています。しかし、Japanese English で学んできた子どもたちの英語を実践的コミュニケーション活動で活かせる本物の英語に近づけるのは大変苦労します。そのあたりのことを、この分科会でお聞きしたかったのですが、「小中連携」というテーマよりも、指導技術やアイデアがメインで、中学校との連携の話があまり出てこなかったのが残念でした。(佐賀)
- ・ 影浦先生のお話を聞けて、わかりやすかったです。各小学校の実践はとても参考になりました。

3. 指導形態

- ・ 小学校の現場で、英語専門にされているわけではない先生方の生の姿が見えるようでした。試行錯誤の中で、生み出されるアイデアは、やはり毎日の生活を子供たちとともに過ごしておられる先生方だからこそと思います。こうした活動をバックアップするためにも小・中連携が必要ではないでしょうか。今回の大会に中学校の(特に英語科の)先生方がどれくらい来られたかわかりませんが、ぜひ協力しあうことが大切だと思います。(市内・府内)
- ・ この分科会がすごい人気のため、他の分科会に回らなければいけない方もいたので、申し訳ない気がした。三種三様の発表でバラエティに富んでいた。1つ目(大牟田市:山田教諭)は、短い時間にする英語活動に興味深いです。指導案綴りが読んでみたいです。2つ目(京都市:加藤教諭)は、学級経営に絡めた英語活動が4年生という自分の担任学年と同じということもあり、参考になりました。カレンダー作りや道徳してみようと

思います。ありがとうございました。3つ目(和歌山県:辻教諭)は、教科の学習との関連も見られ、多彩な活動があり、面白かったです。5年生という学年も難しいと思いました。(高知)

- ・ 第一次案内では、実践報告2は「FLTと担任とのTTによる指導の工夫」だったはずで、私としては、そこを一番聞きたかったのですが、変更になってしまい、がっかりでした。加藤先生の報告はすばらしかったのですが、それはそれでよかったのですが。担任が英語活動を行うときの工夫や、ALTとの協力の仕方、他学級、他学年との打ち合わせなど、現場での悩みは多く、もっとそれらの問題点について討議されることを期待していましたが、実践報告の時間が長く、協議が短かったのが残念でした。しかし、全国の活動の様子や流れを知ることができ、今回の大会参加はとても有意義でした。やはり来てよかったと思いました。(北海道)
- ・ 影浦先生の最後の励ましに、涙が止まりません。まさか自分が英語をやるとは思いませんでした。でも、がんばろうと思います。今日、ここに来てよかったと思います。来年もきっと来ます。(大阪)
- ・ 本校は、今年度から英語活動に取り組み始めましたが、まだまだ、学級担任主体の授業はできていません。いろいろな提案を聞く中で、ねらいを明確に進めていかなければと思います。また、教師がいろいろな研修を受けなければ、担任主体の授業は消極的になっていくと思いました。現段階では、何をどうすればいいのかわからない教師が多くて、自信がないという人が多いと思います。最後に、斎藤先生のお話を聞いてよかったです。ありがとうございました。(滋賀)
- ・ 午前中の授業と発表内容から、加藤先生の願いやねらいが良く伝わってきました。強く心に打たれるものがありました。(大阪市)
- ・ 3人の提案でしたが、質がだいぶ違っていました。加藤先生の担任ならではの取組の実践、すばらしいと思いました。高学年の授業についての質問もありましたが、もう少し具体的な話が聞きたかったです。(滋賀)
- ・ 私の勤務校は、指定校であるため、加配があり、指導形態の面では恵まれていると感じました。もちろん、その分大変なことも多いのですが、今の自分の環境でできることを精一杯やっという気持ちになりました。担任の先生方の熱い思いに触れることができ、よかったです。(島根)
- ・ 3人の先生方の実践、それぞれに良さがあり、大変参考になりました。外国女性の方の質問に対し、誰かが英訳して答えられたらと思いました。司会の方の英語すばらしかったですね。(福岡)
- ・ テーマから若干はずれがちなお話が多くなりましたが、それでも十分すぎるほどの参考になることばかりでした。それだけ、課題が多いのだなぁと認識しました。

4. 教員研修

- ・ 「教育は人なり。」まず、教師が楽しく活動し、感動し、それを子どもに伝えていくことが大切だと思いました。村上先生の明るいお人柄に感動しました。(高知)
- ・ 学校の取組にそれぞれ特徴があり、どれも参考になり、良い研修ができました。ありがとうございました。「この指とまれ」という、自身が魅力的でやる気のある人間にありたいと思います。(奈良)
- ・ 岩倉南小の発表を聞き、励まされました。自校の来年度の取組に向けて、組織作りをがんばるつもりです。英語での劣等感が取れた気分です。(奈良)
- ・ 一人、ネイティブへの劣等感の問題を投げかけられた方がおられ、そのことで話合いが大変深い意義のあるものになりましたね。小学校担任は英語科の専門教員ではない目で見ることの大切さ感じました。(滋賀)
- ・ 岩倉南小の実践報告な何より明るくて楽しいのが良かった。そして、英語活動のみならば、全ての学校教育活動を進める基本を学んだ気がします。まず、一人からでも、1時間の指導案を立てることからでも、1回でも授業をすることからでもスタートしようという気持ちを久しぶりに呼び覚まされました。(兵庫)
- ・ 学校あげての実践に感動(大冠小)誰にでもできる英語活動を考えられ、それが豊かな人間関係を作っている。今、なぜ英語活動が必要かは、英語圏でない本校ベトナム人児童とラオス系児童が日本人児童とフェスタやフェスティバル(年1回、全校英語活動)を通して、コミュニケーションを深めていくのに、やはり、共通のことが欲しいという子どもたちに英語の必要感を募らせてから授業へと導き、大成功している。やはり、多様な価値観を育み、ともに生きていく力を育てていかなければと考えているところです。本日は、誠にありがとうございました。(姫路市立豊富小)
- ・ 英語に対するコンプレックスは、上手に話せなければ英語を話しても恥ずかしいと思うからではないか、上手に話せないことで英語に対してもやる気がしない教師もいるようだ。だが、英語というのは通じることが大切であり、そのためには、わかりやすい簡単な言葉で十分である。英会話しているとき、互いに「わかってもらおう」「わかれよう」とする気持ちであることで、わかりにくい、間違えた英語でも互いの気持ちを汲んで理解できるものである。教師の意識を変えることが必要ある。今日はとってもいい話合いをありがとうございました。(姫路市)
- ・ 草津市では本年から小学校英語活動推進事業をしている。その中で、立命館大学留学生を招いているが、ネイティブの人ではない。完璧に話せることがなくコミュニケーションが取れたという喜びがもてる活動をすることが大切。そのような認識を共有するために、教員がなぜ英語活動をするのか、論議をして明確にすべき。
- ・ 子どもだけでなく、教師自身が学ぶ姿勢が必要。英語においても自ら学ぶ気持ちがあれば劣等感はなくなる。教育は人なり、教員の人間性、人生観が問われている。まずは、子どもありきの教育姿勢を。「この指とまれ」自分の熱き思いを、まず、発信する。それは教員として誰にでもできるし、チャンスがある。

- ・ ネイティブに対するコンプレックスをもつ場合、ネイティブとは何か、私たちが英語に対して十分な分析をしていないのではないかと、考え直してみる必要があるのではないかと思います。多様性を私たち教師自身が受け入れることが、子どもたちの心を発達させる英語教育につながると思います。(津田塾大学)
- ・ 児童がまさにネイティブの話し方や発音をできるようになるべきだという意見が多い。特に中学校英語科教員にこのような意見を持つ人が多い。しかし、ネイティブのほとんどはそのようには考えていない。私たちが大事にしているのは、互いに理解しあうことである。小学校では、発音に関するコンプレックスを持つ必要などない。まさに小学校英語は、日本における、英語に対するコンプレックスや目に見えない恐れ、パーフェクトな英語を話さねばならないという風潮を打ち砕くものだと思う。(高槻市 ALT)
- ・ 英語が話せないと教えられないのではなく、最低限知っていればいいフレーズがわかっていたら、それを自信をもって話していればいいと、影浦先生が授業後の講評でおっしゃっていた。(大津市)
- ・ 校長に反対されて、英語学習に取り組めなかった。本校にいる58歳の教諭は、ミシガン大学にも留学され、英語も大好きです。その方がおられるうちに英語を入れてほしいです。私も好きですが、話せる人間ではないから、それまでに何とかして欲しい。校長は、他の先生が嫌がるからという理由で、子どもの身になって考えていないと思います。

その他

- ・ 全国からお迎えし、多数の方々の動きを把握し、準備なされるのは大変だったと思います。ご苦労様でした。会場に制限がある中、一部の方々に座席がなかったり、見えにくかったりしていた場面がありました。遠方よりお越しの方々に申し訳ない気持ちでした。(市内・府内)
- ・ 会場案内等、お世話になり、ありがとうございました。(島根)
- ・ はじめての全国大会の立ち上げにもかかわらず、運営にかかわるスタッフの皆さんの細部にわたるお世話や心配りに感謝いたします。運営は大変スムーズだったと思います。お疲れ様でした。(北海道)
- ・ 来年もぜひ参加させていただきたいと思いました。ありがとうございました。(静岡)
- ・ 分科会では素晴らしい発表が聞けて大変よかったです。スクリーンの方がほとんど見えず、残念でした。また、仕方がないことだと思いますが、時間が30分以上ずれていましたので、もう少しどうにかならなかったものかと思いました。もっと意見交流や助言をしていただく時間を取って欲しかったです。(佐賀)
- ・ 研究大会が全国レベルで行われ、ここまで準備されたことに敬意を表します。私は京都で生まれ育ち、京都市での活発な英語活動、直山先生をはじめとした積極的な発信を誇らしく思っていたのですが、今日は特にそう思いました。運営委員の方、ありがとうございました。(東京)

- ・ 京都市教育委員会の「実践事例集 STEP1~2」同封いただいております、ありがたい資料となりました。(大阪)
- ・ 資料がなかったり、申し込んでいても名前がなかったりには、残念でした。(滋賀)
- ・ パワーポイントがうまくいかなかったのが残念でした。(大阪)
- ・ 大変有意義な大会で来てよかったです。次回もご案内ください。(滋賀)
- ・ ディスカッションの時間を増やして欲しい。(兵庫)
- ・ 全体会の会場が遠く、学校から移動している時間がかかり昼食を食べる暇がなかった。全体会会場も狭かったので、もっと広いところで。(青森)
- ・ 第2回の実践報告には、「指定なし」「特区じゃない」学校で、地道に粘り強く実践している学校である程度、形ができてい学校を紹介して欲しいです。(大分)
- ・ 京都市の指導細案を参考に学校で取り組んで見ます。そのような実践を積み重ねています。教材もアレンジさせていただいています。(熊本)
- ・ 大変有意義でありがたい研究会をありがとうございました。次回の研究会が待ち遠しいです。(埼玉)
- ・ 教育センターがわかりにくかった。(兵庫)
- ・ 全体的に会場の配置が問題である。各学校からセンターへの移動が大変だけでなく、センター内の研修室も参加者にしては狭く、通路もない。何のために事前にファックスで希望会場を提出したのでしょうか。(北海道)
- ・ このような会に参加させていただくことができ、大変勉強になりました。分科会ごとではなく、プレゼンテーションごとに部屋移動ができればさらに良かったと思います。(市内・府内)
- ・ 第2回もぜひ参加したいと考えています。ただ、12月10日というこの時期の実施は考えていただけないでしょうか。成績評価の時期に近く学校をあけにくいです。10~11月中旬、1~2月上旬あたりはどうでしょうか。(石川)
- ・ 昼の移動・昼食時間が短かった。西陣中央小から移動して、昼食をとって13:30は無理でした。一日ではもったいない内容なので、欲を言えば、金・土と二日間あれば、金曜日は授業見学、土曜日は講演・分科会・ワークショップなどと、参加しやすく、実りがさらにあると思った。とても参考になりました、ありがとうございました。

eI-Net 放映期日変更のお願い

大会終了後、eI-Net 放映用ビデオ編集担当で作業をしておりますが、予想以上に作業に時間がかかっています。そこで、当初予定し、第2回実行委員会でお認めいただいた放映期日について、以下のように変更したいと考え、皆様のご了承をいただきたいと思います。

変更前 平成17年1月11日

変更後 平成17年2月14日(月) 13:00~14:30